

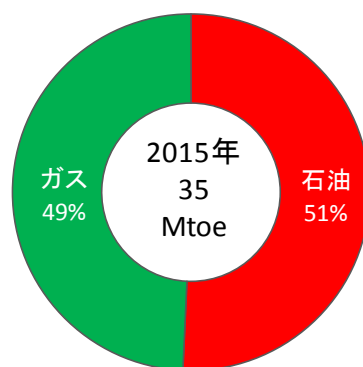
4-3 クウェート

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 35 百万 toe (日本の 0.08 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2015年) : 8.90toe (日本の 2.63 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 484%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 85.4 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 7.5%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 21.90CO₂ 換算 ton (日本の 243.3%)
- (6) エネルギー資源別可採年数 (2016年末) : 原油 88.0 年、天然ガス 100 年以上

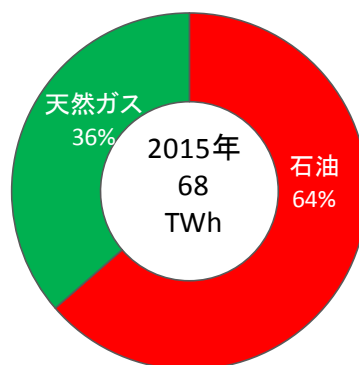
一次エネルギー供給構成 (2015年)



Country: Kuwait

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015年)



Country: Kuwait

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- クウェートのエネルギー担当機関は石油省 (Ministry of Oil) であるが、最高石油評議会 (Supreme Petroleum Council) が政策の審議・裁可をする。

(2) 基本政策

- クウェートのエネルギー部門における基本政策は以下の4点：
 - 先端技術の導入による原油生産能力の回復・拡大、新規開発の推進
 - 天然ガス輸入による資源確保と国内利用・原油代替の促進
 - 石油収入の効果的活用と「次世代基金」による保全・運用 (詳細下記)
 - 石油精製部門の能力増強と石油化学部門の育成

(3) 最近の動向

- クウェートは国家歳入の9割近くを原油収入に依存するため、同国経済は油価の変動により影響を受ける脆弱性を有し、ゆえに産業多角化を図ることが急務となっている。2017年1月には経済開発構想「新しいクウェート」を発表した。
- クウェートは、シーア派住民3割ほど存在するが、2015年1月以降のサウジアラビアとイランの対立においては基本的にサウジ寄りの立場を示している。他方、2017年6月以降のサウジアラビアとカタールの対立においては積極的に仲介役を買って出ている。
- 2015年以降、GCC諸国は、油価低迷を背景として補助金カットにより燃料油価格を引き上げたが、域外にあったクウェートでも、2016年8月、政府がガソリン価格引き上げを承認し、9月に実施した。以後、3カ月毎に、政府機関が国際価格に基づき見直す。2017/18年の予算は歳入436億ドル、歳出652億ドルで大幅な赤字が見込まれている。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2016年度の我が国のクウェート原油輸用量(中立地帯を含む)は1,319万klで、我が国全輸用量の約6.8%であった。
- 出光興産、三井化学、KPCの国際部門KPI (Kuwait Petroleum International) がベトナム北部で進めている Nghi Son Refinery and Petrochemical Project (NSRP、20万b/d、総投資額は90億ドル) は日揮が建設を担い、当初2017年夏頃の操業開始の予定であったが、2018年第1四半期に遅れることとなった。
- 日本・クウェート民間合同委員会：両国間の貿易の促進と合弁事業の発掘などを目的とした民間レベルでの経済協力を推し進めるため、1995年の第1回を皮切りに、毎年持ち回りで会合を開催。2016年3月、東京で第20回を開催し、2017年は第21回会合がクウェートで開催される予定であるが、開催が遅れている。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Kuwait

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		35 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		8.90 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.25 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		484 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		85.4 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		21.90 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	51 %
	天然ガス	49 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	0 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-384 %
(9) 石油の輸入依存度		-776 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸出先	第1位	韓国
	第2位	中国
	第3位	インド

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : Petroleum Intelligence Weekly, Supplement, August 1, 2016